

オペレーションズ・リサーチ—経営の科学—

—バックナンバーのご案内—

- | | | |
|--|-----------------|-----------------------|
| 2001年 (Vol. 46) | 12月号 | データウェアハウスとデータマイニング |
| 7月号 建築のOR | 11月号 | 企業事例 |
| 6月号 DEA モデルとその応用 | 10月号 | GIS (地理情報システム) の活用事例 |
| 5月号 サポートベクターマシン: その仕組と応用
—分類手法の新展開— | 9月号 | BOT—巨大プロジェクト実現の組織 |
| 4月号 シミュレーションの数理: 最近の動向 | 8月号 | 季節変動のマネジメント |
| 3月号 企業事例 | 7月号 | 社会科学における計量・数理分析の潮流 |
| 2月号 認識・感情・意思決定 | 6月号 | 自然災害と防災研究 |
| 1月号 空間データ: 最近の整備動向と新たな活用 | 5月号 | 待ち行列理論の最近の応用 |
| 2000年 (Vol. 45) | 4月号 | 官庁統計 |
| 12月号 データ解析コンペティション
—金融マーケティング— | 3月号 | 公益事業における規制緩和 |
| 11月号 ヒューマンエラーからのリカバリ | 2月号 | ユーザのための数理計画応用 |
| 10月号 暗号は社会を変える | 1月号 | 業務改革のための原価管理: ABCとABM |
| 9月号 最適配置問題 | 1997年 (Vol. 42) | |
| 8月号 企業事例 | 12月号 | 高校生のためのOR(2) |
| 7月号 次世代道路交通システム—ITS— | 11月号 | 電子マネー |
| 6月号 スケジューリングの革新的アルゴリズム
—ラグランジュ分解・調整法— | 10月号 | 組織システム論の新たな展開 |
| 5月号 金融・証券ビジネスとOR | 9月号 | 多主体複雑系のパラダイム |
| 4月号 中堅・中小企業における戦略的情報化 | 8月号 | 通信・情報処理分野におけるORの実践 |
| 3月号 アルゴリズム工学 | 7月号 | 組織知能と情報ネットワーク企業 |
| 2月号 論文・事例研究 論文・研究レポート | 6月号 | 文科系のためのOR教育 |
| 1月号 経営学におけるゲーム理論と決定理論 | 5月号 | ORの適用事例 |
| 1999年 (Vol. 44) | 4月号 | ビジネスプロセスの分析手法 |
| 12月号 少子・高齢化問題II | 3月号 | 流通の今日的課題と展望 |
| 11月号 企業事例 | * 2月号 | 企業事例—トヨタの生産システム |
| 10月号 パートナリング | 1月号 | 都市構造と省エネルギー |
| 9月号 少子・高齢化問題 | 1996年 (Vol. 41) | |
| 8月号 ソフトウェア信頼性評価法の新潮流 | 12月号 | ゲーム理論の新たな展開と最近の適用例 |
| 7月号 医療システムとOR | 11月号 | オプション理論とその周辺 |
| 6月号 サプライチェーンマネジメント | 10月号 | グループウェアとワークフロー |
| 5月号 大域的最適化 | 9月号 | ピーク電力の予測 |
| 4月号 地球環境問題, わが国の戦略 | 8月号 | 論文・事例研究 論文・研究レポート |
| 3月号 スポーツの戦術とマネジメント | 7月号 | 統計モデル選択 |
| 2月号 不動産の再生と不動産学への期待 | 6月号 | ユーザのための数理計画入門 |
| 1月号 AHPの発展経緯と最近の話題 | 5月号 | 知的生産性向上 |
| 1998年 (Vol. 43) | 4月号 | 巨大プロジェクト |
| | 3月号 | 高校生のためのOR |
| | * 2月号 | 危機管理と対策 |
| | * 1月号 | テクノロジー・マネジメント |

*印は品切れ。価格950円(本体922円) [Vol. 42 4月号からは定価970円(本体924円)]

(社)日本OR学会

〒113-0032 文京区弥生2-4-16 学会センタービル
Tel. 03(3815)3351(代) Fax. 03(3815)3352

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
平成13年度第2回 OR セミナー
『 離散シミュレーション - その最前線と事例 - 』

開催趣旨:

オペレーションズ・リサーチ手法の一つとしてシミュレーション法は古くから最も使われている手法の一つであるが、コンピュータ能力の向上に伴い、今や分野を問わず必須の技術となっている。特に複雑で大規模なシステムは、シミュレーションが唯一の定量的な分析手段である事が多い。

最近では、IEEE 標準化で分散環境上のシミュレーションが現実的なものとなってきており、新しい局面を迎えている。また、マルチエージェントシミュレーション等に代表される新しい視点からのシミュレーションモデルに関心が寄せられている。

本セミナーは、離散シミュレーション手法を分かりやすく解説し、シミュレーションを取り巻く最も新しい話題や実務に適用された事例を解説することにより、シミュレーションの研究者や利用者にとって多に役立つ内容となっている。

日 時: 平成13年 9月27日(木) 9:30~17:00

会 場: (株)構造計画研究所 本所新館 東京都中野区中央4-5-3
(地下鉄丸の内線 新中野駅 出口2番から出て荻窪方向へ すぐ)

オーガナイザー: (株)構造計画研究所 相澤りえ子

プログラム:

(1) 9:30~10:40 「離散シミュレーションの解説と理論」

講師: 早稲田大学理工学部教授 逆瀬川 浩孝

シミュレーションとは何かを先ずやさしく解説し、理論と最近の動向、数理的アプローチについて解説する。

(2) 10:40~11:50 「分散型シミュレーションの動向」

講師: 防衛庁 技術研究本部 第二研究所 第一部

情報システム研究室 室長 大西康文

シミュレーションと実システムや、複数のシミュレーション・システム間で接続実行を行える分散型シミュレーションの規格 (HLA)が着目されているが、その動向について解説し、実装例を紹介する。

(3) 13:10~14:20 「マルチエージェントシミュレーションと離散シミュレーション」

講師: 神戸大学工学部助教授 貝原俊也

最近、マルチエージェントプログラミングの考え方をシミュレーションに取り込んだマルチエージェントシミュレーションが注目されている。そこで、マルチエージェントシミュレーションの概要およびシミュレーション技術における位置付けを、離散シミュレーションと比較しながら解説する。

(4) 14:40~15:50 「製造業のシミュレーション適用例」

講師: 富士通(株) 製造技術統括部 第二製造技術部

プロダクションアーキテクチャ担当課 若林信克

実用的にシミュレーションが最も使われている分野である製造業で、実際に効果を上げられた事例を説明する。プリント基板のラインにおけるリードタイムの短縮のためのシミュレーションの取り組みについて解説する。

(5) 15:50～17:00 「列車運行へのシミュレーションの適用例」

講師：川崎重工業(株) 技術研究所

主席研究員 鹿島 宗

列車の運動は連続系であるが、離散系の信号システムにより運行が制御されている。列車の運行状況をシミュレーションして、信号方式・ダイヤ・列車の性能等を検証するために、汎用的な解析ツールを開発した。その概要と適用事例を解説する。

テキスト：当日配布

参加費：正・賛助会員 25,000 円、学生会員 5,000 円、非会員 30,000 円

申込方法：9月14日（金）までに学会事務局へE-mailまたはFAXにて

E-mail: kenkyu@orsj.or.jp, FAX 03(3815)3352

問合せ先：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 Tel. 03(3815)3351

〒113-0032 文京区弥生 2-4-16 学会センタービル内

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 宛

FAX : 03-3815-3352 E-mail:kenkyu@orsj.or.jp

平成13年度第2回ORセミナー「離散シミュレーション」参加申込書

平成 年 月 日

参加者氏名 (会員番号)	
勤務先 (又は学校名)	
勤務先住所 (又は 自宅住所)	〒
Tel/E-mail	
参加費	正・賛助会員：¥25,000 名 / 学生会員：¥5,000 名 非会員 : ¥30,000 名
支払方法	1. 銀行振込：東京三菱銀行 千駄木支店 普通0011000 三井住友銀行 白山支店 普通697496 第一勧業銀行 根津支店 普通1530801 2. 郵便振替：東京 00190-6-79492 *上記1、2の口座名は社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 3. 現金書留 4. その他
支払予定日	年 月 日 会社宛請求書：要 / 不要